

令和元年度下半期財政の状況

(元年10月1日～2年3月31日)

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、元年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況をお知らせします。企業会計(水道事業)は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて2年3月31日現在のものです。元年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

元年度の予算現額は、7430万円です。

執行状況は図1のとおりで、歳入では収入率が91.8%、歳出では執行率が88.3%となっています。

施策の大綱ごとの主な取り組み

健康と福祉の充実

増加する保育需要に対応するため、保育園新築・改築工事への補助を行いました。また、聴覚障害の早期発見・早期療育のため、すべての新生児に対する聴覚検査について、費用の一部を補助しました。

循環型社会の形成

安定したごみの焼却処理のため、焼却炉の補修などを実施しました。また、市役所本庁舎に電気自動車の急速充電設備を設置しました。

明るい地域社会の形成

防災行政無線のデジタル化に向け、無線送受信装置などを整備しました。また、振り込め詐欺の被害を防止するため、自動通話録音機を購入し、高齢者世帯に無償貸与しました。

教育・文化・スポーツの充実

アキシマエンスの開館に向け整備を進めました。また、児童・生徒を熱中症から守るため、小学校3校、中学校3校の体育館に空調機器を設置しました。

産業の活性化

消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、低所得者を対象にプレミアム付商品券を販売しました。また、アキシマフジラがモチーフのご当地ナンバープレートを作成しました。



表1 積立基金(貯金)

		現在高
一般会計	財政調整基金	51億4028万円
	特定目的基金	69億4885万円
特別会計		40億3732万円
合計		161億2645万円

※財政調整基金=財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
 ※特定目的基金=公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

		現在高 (元金の残高)
一般会計	建設事業債	86億6849万円
	赤字地方債	103億8840万円
下水道事業会計		47億4404万円
合計		238億 93万円

※建設事業債=学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
 ※赤字地方債=財源の不足を補うための借入金

積立基金(貯金)

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源不足の場合や、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。

現在高は表1のとおりです。

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図2のとおりです。

市債(借金)

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要で、その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借入れを行っています。

現在高は表2のとおりです。

図2 市有財産

土地

58万8329㎡
(学校・公園ほか)

建物

22万1893㎡
(学校・市庁舎ほか)

出資による権利

1億2294万円
(昭島市育英会ほか)

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

2年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。

【市民1人当たり】	【1世帯当たり】
17万3611円	市税負担額 36万 788円
36万8181円	市民サービス費用 76万5133円
14万1946円	貯金 29万4983円
20万9497円	借金 43万5364円

※2年3月31日現在の人口は11万3610人、世帯数は5万4669世帯です。

表3 元年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	121億3006万円	114億2246万円 (94.2%)	112億8540万円 (93.0%)
介護保険	92億1294万円	89億8109万円 (97.5%)	83億1360万円 (90.2%)
後期高齢者医療	25億2841万円	25億3518万円 (100.3%)	25億 811万円 (99.2%)
下水道事業	32億7698万円	27億6068万円 (84.2%)	25億4985万円 (77.8%)
中神土地区画整理事業	2億4104万円	2億1763万円 (90.3%)	2億1016万円 (87.2%)
合計	273億8943万円	259億1704万円 (94.6%)	248億6712万円 (90.8%)

元年度は、前年度に引き続き保育所の運営費などの扶助費が増加しました。また、アキシマエンスの開館に向けた整備や、小・中学校体育館の空調機器設置工事などにより、普通建設事業費が大きく増加しました。

2年度も引き続き、小・中学校体育館の空調機器設置工事や、清掃センター焼却施設補修などが予定されています。さまざまな財政需要に対応するため、基金の取り崩しと赤字地方債の借り入れにより、10億6000万円の財源不足を補わなければなりません。更には、新型コロナウイルス感染症の影響により対策が必要となる一方で市税が大幅な減となるなど、財政状況は厳しくなることが見込まれます。

このような中でも市民サービスの維持・向上を図るため、行政改革推進プランの取り組みを着実に進め、更なる行政の健全化と持続可能な財政運営に努めます。

☆詳しくは、財政係へ。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。

行財政の健全化に向けて

図1 元年度一般会計 予算の執行状況

歳入		歳出	
項目	金額	項目	金額
市税	196億1160万円 (100.6%)	総務費	62億1443万円 (82.0%)
地方消費税交付金	20億 0万円 (97.6%)	民生費	221億8578万円 (92.1%)
地方交付税	4億2359万円 (108.3%)	衛生費	37億7312万円 (80.5%)
使用料及び手数料	8億7601万円 (95.6%)	土木費	22億9151万円 (79.6%)
国庫支出金	102億4015万円 (78.4%)	消防費	16億7831万円 (95.4%)
都支出金	64億7974万円 (92.9%)	教育費	80億6037万円 (86.0%)
市債	15億2740万円 (50.5%)	公債費	21億2740万円 (99.9%)
その他	62億1581万円 (92.0%)	その他	10億4338万円 (74.1%)

※前年度からの繰越財源(140万円)を含みます。

※前年度からの繰越事業費(140万円)を含みます。